
ロシア史研ニューズレター

ОБЩЕСТВО ИССЛЕДОВАТЕЛЕЙ ИСТОРИИ РОССИИ

No.133

April 2024

2024 年度大会は 10 月 5 日～6 日 東京大学にて**完全対面**で実施 自由論題・パネル報告募集中



【事務局より】

今年10月5日(土)6日(日)に東京大学本郷キャンパスで予定されているロシア史研究会大会は、**完全対面**で開催される予定です。新型コロナウイルスの感染再拡大など、特段の事情が生じない限りは、コロナ禍以前の形に戻るようになるので、ご注意ください。

共通論題提案は既に締め切られておりますが、自由論題報告・パネルの応募締め切りは 4月30日(日) ですので、応募用紙を本会ウェブサイト「大会」頁からダウンロードし、添付ファイルを事務局宛にお送りください。

<大学院生等に対する大会報告時の交通費補助制度>

例会交通費支給規程を準用し、大学院生等会員の研究活動を資金的に支援するため、遠方の会員(学振研究員を除く大学院生・非常勤)の自由論題報告に対し、交通費実費の片道分(上限有)を補助します。ご希望の方は報告申込のメールに「交通費補助希望」と記入してお送りください。

<大会時の託児サービス>

大会時の託児サービスについては、会場校の都合もあり、会場内託児は設置しないことになりました。子供一人につき一日最大5千円の託児補助を実施します。申し込み締め切り日等の詳細は後日改めてお知らせいたします。

【委員会の開催】

3月4日(月)Zoom ミーティング

主な議題は以下の通りです。

- 2024年大会の共通論題
- 名簿の改革
- 委員の出張、ならびに経費の精算
- ハラスメントの相談窓口と手続き
- 会誌のロシア語のネイティブ校閲
- J-Stageの更新(3月末までに105号まで更新されました)
- 2024年6月に韓国で開催される東アジア大会と、ICCEESの今後の予定
- 北大でのサマースクール
- 書類の保存期間のルール作り

【訃報】

すでに会員メーリングリストでお知らせしたとおり、九州大学名誉教授の高田和夫先生が、3月13日にご逝去されました。高田先生のご冥福を心よりお祈りいたします。高田先生の追悼文は会誌113号に掲載予定です。

【新入会員】

2024年1月～4月初めまでの新入会員(名)をお知らせします。

Antonenko Viktoriia(2024年2月22日入会)

所属:北海道大学大学院文学研究院専門研究員

専攻・テーマ:

1905-1945年におけるロシア/ソビエトの経済発展戦略におけるサハリンの位置

岡部 克哉(2024年4月2日入会)

所属:慶應義塾大学大学院法学研究科後期博士課程

専攻・テーマ:20世紀初頭の日露関係

【献本について】

事務局まで以下の献本がありました。
伊賀上菜穂・阪本秀昭編著『ロシア正教古儀式派と国家』明石書店、2024年

ロシア史研ニューズレター
第133号 2024年4月22日発行
編集・発行 ロシア史研究会委員会
(濱本真実・林健太)
〒819-0395
福岡市西区元岡744
九州大学大学院経済学研究院
左近研究室気付
